

(様式第4号) 交流・文化施設等整備検討委員会 (第16回・第7回専門委員会) 概要

1	会議名	交流・文化施設等整備検討委員会
2	日時	平成21年8月21日(金) 午後3時から5時30分まで
3	会場	上田商工会議所 4階議員会議室
4	出席者	日端委員長、龍野副委員長、美山副委員長(専門委員会)、土本委員、伊藤委員、成沢委員、山崎委員、寺島委員、岡村委員、西澤委員、浦委員、竹花委員、山岸委員、小川委員、田中委員、清住委員、桜井委員、竹内委員、宮下委員、宮本委員、佐田委員、津村委員、関田委員、滝澤委員、【欠席委員】山浦委員、関口委員、小池委員、森委員、柄沢委員、太田委員、
5	市側出席者	大澤政策企画局長、小市教育次長、宮川政策企画課長、中部文化振興課長、中山公園緑地課長、清水都市計画課長、伊藤交流・文化施設建設準備室長、近藤政策企画担当係長、若林建築課建築担当係長、室賀交流・文化施設準備係長、徳田主査、
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者0人	記者5人
8	会議概要作成年月日	平成21年8月22日

協議事項等

1	開会(大澤政策企画局長)
2	委員長あいさつ 前回の様々な議論を今日の修正案に反映しているが、とくに小ホールについて結論を出したい。
3	議事 (1) 検討結果報告書(修正案)の検討について 事務局:(資料説明) 委員長:小ホールは2案併記のためどちらかに決めたいが、それ以外の部分はこのような形でどうか。 委員:大ホールの席数をまだ意見統一していないため、まずこれを決定し、次に小ホールに進みたい。 委員長:大ホールは1700席の方針。コンベンション利用の表現を追加するが、それ以外の部分は・・・。 委員:委員会の中でも意見が分かれており、検討委員会の場では決定をされていないと思うがどうか。 委員長:コストなどの資料を基に議論し、1700という判断をしたものと理解している。修正案にも経緯として1500~1700という表現はあるが、結論として1700が適当と判断しましたと書いている。 委員:文案はそうなっていても、では誰が「適当」という判断をしたのか。 委員長:この委員会で判断したということ。 委員:この委員会ではしていない。 委員長:皆さんから異論がなければそれは会議で・・・。 委員:委員全員に判断を尋ねてそれでまとまったのなら良いが、改めて統一見解が必要ではないか。 委員:様々な意見がある中で、1700というのは「何となく」という方向で進んでしまったと思う。 委員:私も決定されたという記憶はない。これはもう少しはっきりさせた方が良いのではないか。 委員長:「議論の結果1700程度が適当と判断」したわけで、「決定した」というのはおかしいと思う。 委員:席数については最初から議論されていたことで、ある程度の数字を具体的に決めなければ・・・。 委員長:その根拠が①から⑤ではないか。 委員:皆さんから改めて意見を聞いてほしい。大ホールが決まれば、次に進むということではないか。 委員長:では大ホールに対して意見をどうぞ。 委員:1500席が適当と思うが、1700の希望も多く、市民に対する説得力では1600が妥当ではないか。 委員:1700席が良いと思う。理由は、100席程度は機材の設置で使えなくなる場合がある事、小中学校の音楽祭が行える事。上田市は文化レベルが低く、経済を優先し文化をないがしろにしてきた結果だと思ふ事。また1700あれば一流のアーティストも呼ぶ事ができ、若者の都会への流出も防げると思う。後から座席を増やす事は難しいので、未来への投資として考えるべきではないか。 委員長:以前の会議で、1500と1700の建設費等の比較資料があったが、これが想像していたよりも大きな差では無かったことから、1700という一つの結論が出たものと理解している。

委員：1700 席が良いと思う。小中学校の音楽会の件や、1500 と 1700 のコスト差が極端ではない事、そして東信に最たるものをと考えると、①から⑤の視点を素直に受け止めるべきではないか。

委員：今の経済状態の中で、市民に対しての説得力が求められる。市民利用としては 1000 席程度しか使えないわけで、1700 となると貸館や自主事業をどのように行っていくのかを考える必要がある。いずれにしてもここで 1 年も検討して、一つの結論を出せないというのはいかがなものか。

委員長：修正案の文案が適当でないとするなら、異論を具体的に提案してほしい。

委員：他の委員にも異論があるのか、適当なのか、この委員会で決定してほしいという事。

副委員長：大ホールについては、前々回の資料で、コスト比較など、かなり具体的な資料が示されている。「1700 程度で適当と判断しました」という文案も今日のはじめて出たわけではなく、これについて特に異論が無ければ、内容として委員会で合意をしたという理解で進めてきている。

委員：経緯は委員長たちが話すとおりが、1700 で良いのかを再確認すべきということではないか。

委員：様々な立場の人が様々な見解を持っており、その集約は非常に難しい。答えを一つに絞ることが本当に正しいのかもわからない。しかしこの委員会ではこれまで丁寧に議論を進めており、ここで決をとって進めるのではないという事に私たちはチャレンジしているのではないか。

委員：焦点となる部分は、徹底的に議論をすべきだという意見もあると思う。

委員長：それは分かるが、何も意見がないのに、全ての項目を確認していくというのはいかがなものか。

委員：全体の整備事業費が減額になっているため、席数を再検討することも必要ではないか。

事務局：整備事業費減額後の 135 億円には、施設の最大値、つまり大ホール 1700 席、小ホールはプロセニウム（現上田市民会館と同形状の舞台）を持った固定席、また交流施設での展示スペースの確保のため、多目的ルームを増室した場合での想定となっている。

委員長：大ホールについて、P.6 のこういう書き方で良いか意見を出してほしい。

委員：委員会で 1700 席という案が良いか論じてほしい。委員の皆さんが承認すれば、私に個人的な考えがあっても、ひとつの問題はこれで統一に至る。このことをきちっと決めて次に進みたい。

委員長：それでは、修正案 P.6 の「以上のような視点に基づき、議論の結果 1700 席程度が適当と判断しました」と言う表現について、意見があればどうぞ。

委員：1700 席が適当だと思うが 1500 を望む声も多い。この 200 の差の対応として⑥に皆さんが納得する説明を加えてはどうか。例えばヨーロッパのオペラハウスでは 2～3 階席はカーテンで閉じることができるが、日本の技術であれば、カーテンではなく、壁などで完全に固定し可変できる。

委員長：今の意見に関連して、7 ページの上部に客席可変装置を設置すべきという記載があるがどうか。

委員：明確な記載の方が、市民の皆さんが納得され、喜んでもらえるホールとなるのではないか。

委員：小中学校の音楽会の面から 1700 席を望む。また、大学生にこの計画の話をしたら、せっかく作るのであれば、今までと同様の規模のホールであれば魅力はないと話していた。

委員：以前の会議で人口 16 万に対しての 1600 席という意見を興味深く感じた。それと、機材の設置で 100 席程度使えなくなると言う話は、最初からそのためのスペースを設ければどうか。

委員長：機材の有無は催しによって異なるはず。いずれにしても特に強い反対が無ければ 1700 席とする条件は整っていると感じており、今日の意見を踏まえて文章を補強するかどうかではないか。

専門委員会副委員長：1700 席のホールは大きく、運営は非常に大変。①から⑤までの視点は 1700 を作るための弁解であり、近隣の市が 1500 なので上田は 1700 というのが本当に良いだろうか。市民アンケートの結果でも財政的な危惧が最も多かったが、それは事務局も十分承知しているはず。それでも 1700 とするのであれば、それを維持し活用していくための人的・財政的な措置を明確に、またそれが中心市街地の活性化など、市の発展の意義を持つ事を書き加えるべきではないか。

委員：1700 席が果たして何度満席になるのか疑問。管理面では太陽光発電などで経費を削減し、様々な寄付を募り、みんなで作った施設とすれば稼働率も上がる。もう少し財政面への配慮が必要。

委員：⑥として、客席可変装置を設置するという項目を入れる案が良いのではないか。市民利用や市民感情への配慮としても、普段は 1500 席にしておけば経費の節減にもつながる。

委員：1700 席という事であれば、市民の皆さんが納得できるような文言を付け加えるべきだと思う。

専門委員会副委員長：人口 26 万人の水戸市にある音楽ホールは約 650 席だが、音楽顧問に小澤征爾を迎えオーケストラを作った。この公演はホールが小さいため 2～3 回公演となっているが、小さい方が体験の密度は高く、音楽表現の微妙な差が直接伝わる。芸術体験では量よりも質が重要で、質を確保した大ホールの実現のためには、必要なコストと具体的なプログラムをしっかりと明示しなければ市民は安心できない。市民を安心させるべきは市長であり、市長が最終的に 1700 で作り、これによって上田はこうなる、財政的な手当ても行うという決意表明があれば 1700 でも良

いと思う。ここの表現は、そういう表明を行政のトップに促すような表現でなくてはならない。

委員長：そうした表現を加え、次回までにこの委員会と事務局との間で調整するという事でよいか。

委員：(賛成)

委員長：では小ホールについてはどうか。

委員：固定席案に賛成。理由としては、稼働率の高さが必ずしも文化的な質の高さではないと思う事。丸子文化会館の小ホールは平土間で稼働率が高いが、長方形の箱型形状のため、後部に音が届く前に横の壁に反射し、不思議な音響になってしまう。そして椅子がパイプ椅子のため、見込みを越えて来客した場合、曲の途中で椅子を出す必要がある。今日の資料3では、◎がついているのは固定席のみであり、その他はどれも○や△。その建設に何億円もかけるのかと思うと非常に疑問。1700 というのはよほどのアーティストでなければ使えず、有名なクラシックの演奏家であっても、音響が良ければ小ホールの方を選ぶと思う。ただしこれは平土間や可動席であれば無理ではないか。展示やダンスについては、芝生広場のスペースを少し減らして、まつもと市民芸術館のリハーサル室のような多目的な部屋を別に設けるべき。これは市民の皆さんの価値観の問題であり、多目的な利用と稼働率を選ぶのか、質の高い芸術を選ぶのかという事。質の高い芸術に触れることで、それに応じた目や耳を養うことができる。そうしたホールが街の中心にない。

委員：確かに価値観の問題で、芸術家の方の立場からすると固定席が良いと思うが、私としては市民の立場から、市民参加型の多目的に使える平土間+可動席が良いと思う。先日成城ホールを視察したが、ロールバック座席は非常に良くできており、音響的にも設計で向上させられると思う。

委員：資料には平土間は音楽、演劇、公演ともに△だが、丸子文化会館の小ホールはこのようなことはなく全部○だと思う。椅子の移動については検討する必要があるが、今夜も講演会が開かれており、時には小規模の演劇も行われる。これらに対応するために、やはり平土間が良いと思う。

委員：ロールバック席は長期的な維持費が心配。またこの施設だけを考えるのではなく、市内他施設との役割分担という事を考えると、固定席が良いのではないか。

委員：展示や飲食などは創造館の文化ホールや中央公民館の大会議室でもできるため、地域の文化振興の視点では固定席が良いと思う。先日視察した成城ホールも平土間での利用は少ない。

委員：平土間は他の施設を使うという話もあるが、県展などの大規模展示の場合は複数の場所で開催する事は難しい。固定席の場合、交流施設などで展示スペースを取ってほしいと要望していたが、そうするとその部分の天井を高くしたり、照明を設置したり、かえってお金が掛かる。

委員：この施設はホール、美術館、交流施設の複合施設を目指す事が目的のはず。展示は他の施設を使えば良いというのは少し乱暴な話ではないか。多目的ホールは中途半端で、音楽関係の人にとっては使いにくいかも知れないが、美術展示としても決して良い環境ではない。しかしトータルでお互いに使い合って、身の丈にあった施設を作っていく事が総合的な合意の前提かと思うので、やはり平土間+最新の施設によるロールバックという形が望ましいのではないか。それと、交流施設で美術展示を行う考えは新たな費用が生じるため、それほど単純な話ではないと思う。

委員長：市民がどちらを望んでいるかという点が基本にあると思うが、議論の参考として、今日出席している市民委員、つまり専門委員を除いた委員から意見を出してほしい。

委員：固定席の小ホール+展示対応の多目的ルームというのが理想だが、建設費用を考えると、結論的には多目的に使える平土間式が良いと思う。

委員：上田市民は、他の都市で演劇や音楽の鑑賞をしている。だから夢としては固定席を望むが、費用を考えると平土間+可動席でうまく対応させる事が必要かと思う。

委員：どれがベストの方式なのか迷っているが、いずれにしても、ロールバック席は長期的な耐久性が心配。それと、人間の手で椅子を出して並べることも、これも一つの文化作りなのかなと思う。

委員：固定席に賛成。平土間やロールバックで音楽を聴く事を考えるとがっかりする。

委員：上田においての小ホールは、数が足りないというよりも、質として足りないという事があると思う。質を求めると当然固定席になるが、一方でホールの分厚い二重扉の向こうで展示会を観るという事はあまりイメージできない。上田の特徴という意味で考えると、映画という選択があると思う。いずれにしても特徴を持たせるとすれば固定席ではないか。

委員：交流施設に展示スペースが設けられれば良いが、135億という限度額の中でそれは可能か。

事務局：135億円は、固定席の小ホールと、展示スペースとして多目的ルームの面積を増やすことも想定した事業費。しかし美術館の面積を増やすという事になると新たな積算が必要になる。

委員：以前の会議では、市民意見の聴取結果からも平土間の選択は有り得ないという意見もあったが、やはり大規模美術展示の場合は他の施設を利用するしかないと思う。

委員：県展の際、または例えば市政何十周年などの機会に、大規模な企画展示で美術の楽しさをアピールするのであれば 2000 m²程度の展示面積が必要。長野県民文化会館でも行っているが、平土間の小ホールがあれば十分展示できる。光が防げ、壁が立てられ、防犯ができるスペースが美術館の展示面積に加えて 1000 m²程度確保できれば、長野県信濃美術館や松本市美術館に勝るとも劣らないものができるはず。50年に一度のこの機会に、この点をぜひ工夫してみてください。

委員：最新の技術であればハードは非常に多様な要求に応えられる。しかし今日の資料に固定席は音楽、演劇ともに◎とあるがこれは不可能。音響重視であれば演劇のせりふは聴きとれず、演劇用の舞台にすると音響反射板が設置できない。映画に関して上田のフィルムコミッションは全国トップクラスであり、これを前向きに考えるべきではないか。日本中多くのホールに関わったが、今日の議論を聞くと、上田は運営費や自主事業費に相当のお金をかける様子で、裕福な町だと思う。

専門委員会副委員長：固定席で音楽と演劇が両方◎でない事は同感。平土間＋可動席の場合も、音楽と展示では求めるものが異なり両方○ではない。上田市が大ホールで積極的に事業展開し、周囲に誇れる施設とするならば、小ホールも固定席で作る事がコンセプトの統一として必要ではないか。そして、誇れる施設に応じた負担と努力をする覚悟があるか、その点をよく考えてほしい。

委員長：時間が来ているが延長させてほしい。まだ発言していない市民委員から意見を出してほしい。

委員：本当に私自身どれが良いのか分からない状態で、もう少し他の意見も聞きたい。

委員：小ホールの事は分からないが、今後の事業展開、例えば御代田のアトリエで作曲活動をした武満徹の演奏で有名なホール、というような特徴が必要ではないか。美術館についても、山本鼎の精神が何十年も眠っており、近代日本美術教育の聖地としてそれを復活させるためには、この分案では不適當。「上田ゆかりの芸術家」の「ゆかり」は不要で、「新たな文化芸術の創造に活かしていく」は「創造に向かっていく」とすべき。そうでなければ、どこにでもある美術館になる。

委員：資料から計算すると、平土間と固定席の建設費の差は、交流施設の面積増加分を含めると 5.6 億円。これほど差があれば固定席に反対だが、交流施設を増やさずに工夫できるなら良いと思う。

委員：蚕都としてシルクのファッションショーやデビュー間もないアーティストのコンサートを行ってはどうか。それには多目的かつお互いを共有できる身近な空間、つまり平土間式が良いと思う。

委員長：時間が過ぎていたのでまとめたい。今日の市民委員の意見では、固定席と平土間がほぼ半々であり、議事運営上、判断を議長に委ねてもらえるなら、この施設は交流・文化施設という複合施設であるため、小ホールは固定席にし、平土間の多目的な機能は交流施設で対応する事が現実的ではないか。ただし資料 3 の固定席案は建設費が大きいので、これを削減できれば良いと思う。

専門委員会副委員長：この固定席の積算はプロセニウム舞台を持つ構造での想定のため、音楽を中心に考えたオープンステージ(周囲を客席が取り囲む形式の舞台)であれば建設費は比較的安価となる。

委員：委員長の案に賛成。

委員：やはり市民参加型施設という事で、誰もが気軽に利用できる平土間を望む。

委員：全国に通用するホールなのか、市民が利用しやすいホールなのか。一流を目指すのであれば、一流の演奏をしない限り生きてこない。本当にそれを目指すのかその点は明確にしてほしい。

委員長：今の意見は、報告書に書き込むという事か。それとも今後の・・・。

委員：書き込まなくても良いが、本当に全国に通用するホールを作るのかその点を・・・。

委員長：予算などの制約はあるが、それを目指すという事ではないか。

委員：1700 席もの大ホールで自主事業も行って行くのであれば、人材・運営・事業費、街や教育とのコーディネーション、これらを明記しなければ非常に無責任な報告になってしまう。P.6 の⑤の後に文章を追加すべき。そうでなければ、この大規模を簡単に運営できるかの様に聞こえる。

委員長：会議の通常の運営手法として、今日の案は正副委員長預かりとして修正したい。次回、委員全員でその確認を行い、その後市長に検討結果を報告したい。何か意見があればどうぞ。

委員：市長に報告する際には、これまでの検討の過程を十分に伝えてもらいたい。

(2) その他

事務局：次回は 8/28 の 3 時から市役所 6 階会議室で開催したい。報告書のまとめにあたっては、今日の意見を踏まえ、正副委員長と協議し、また各委員に事前にお知らせしながら次回を迎えたい。

4 閉会(日端委員長)

会議が 30 分も延長したが、ご協力いただきありがとうございました。これで終了します。